

地域の医療の大きな力に

みんなの意識で変わる救急医療

あなたの大切な人の命を
救うために、皆さんへの
お願い!



全国的に救急出動件数は増加しており、久留米市内でも平成 30 年中の出動件数が、14,837 件と過去最高を記録しています。このような中、緊急性の低い病気やけがによる出動も少なくありません。そのため、本当に救急車を必要とする人への対応に時間を要することがあります。あなたの大切な人の命を救うために、救急車の適正利用について、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

※緊急時は、迷わず 119 番通報をお願いします。

問合せ：久留米広域消防本部 救急防災課

TEL：0942-38-5158

FAX：0942-38-5172

病院へ行く？ それとも救急車？

救急車を呼ぶか迷ったら

☎ #7119

福岡県が実施する救急医療電話相談事業

救急車の利用や最寄の医療機関についてアドバイスしてくれます。救急の相談には看護師が対応し、緊急性が高い場合は救急車を勧めてくれます。

受け付けは、24 時間年中無休です。

繋がらないときは

☎092-471-0099 へ。

子どもの急な病気 救急診療？自宅で見守る？

子どもの急な病気に迷ったら

☎ #8000

福岡県が実施する小児救急電話相談事業

看護師や小児科医が必要に応じて助言してくれる電話相談窓口です。

平日 19 時～7 時、土曜 12 時～7 時。
日曜・祝日、12 月 29 日～1 月 3 日、
8 月 13 日～15 日は 24 時間受け付け。

繋がらないときは

☎0942-37-6116 へ。

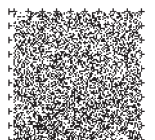


ご注意

もちろん緊急時は 119 番に

緊急時はすぐに、119 番で救急車を呼んでください

電話番号のかけ間違いには十分ご注意ください



あなたの身近なお医者さん

「かかりつけ医」といっしょに健康管理

かかりつけ医とは、日常的な診療や健康管理をしてくれる身近な医師のことをいいます。



かかりつけ医がいると「イイコト」いっぱい

イイコトその①

無駄な検査や待ち時間の短縮！

風邪っぽいなあ・・・
とりあえず総合病院を受診しとけば安心でしょ。



大病院はかかりつけ医からの紹介状がないと医療費が高くなる場合があります。また、同じ病気で複数の医療機関を受診することは、何度も病状の説明をしたり、同じ検査をしたりするなど、ご自身の心身への負担が大きだけでなく医療費も高額になります！！

まずはかかりつけ医を受診し、必要に応じて、かかりつけ医から紹介された専門医療機関を受診しましょう。



イイコトその②

「自分データ」に合わせたサポートが受けられる！

A 医院で糖尿病を診てもらって3ヵ月たつけど良くならないな。
友人のBさんが受診しているCクリニックにも行ってみよう！



糖尿病や高血圧などの慢性的な病気は、根気強く治療を続けることが大切です。また、生活習慣病治療には、重症化を予防するための管理基準があり、医師は年齢や過去の病歴などから管理基準を決め、生活リズムやお薬の量、飲み合わせを考慮しながら慎重に治療をすすめます。

かかりつけ医をもち、治療や相談を続けることは自分データが積み重なり、効率的で効果的な治療につながります。治療の見通しが心配なときは、まずはかかりつけ医に相談してみましょう。

■かかりつけ医に相談できるとこんな「イイコト」も♪

例) Dさん(68歳男性)、持病：高血圧(治療歴5年) / 糖尿病(治療歴3ヵ月)

「最近体がだるかったり、冷や汗が出たり…。趣味のウォーキングに行くのもおっくうだな」

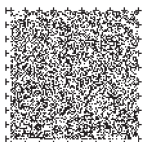


かかりつけ医に相談し、服薬回数の異なる高血圧薬と糖尿病薬

を飲み間違え、血圧が下がりすぎていること、低血糖の症状が出ていたことがわかりました。医師と薬剤師との連携により、薬の変更と飲み間違いを防ぐための工夫をしてもらいました。



薬の工夫の結果、血圧や血糖値が安定してきたため、ウォーキングを再開できました。



問い合わせ先

久留米市 健康福祉部 医療・年金課

電話：0942-30-9196 FAX：0942-30-9107

E-mail：iryounen@city.kurume.fukuoka.jp